



かほく市立河北台中学校

令和6年9月12日

学校だより【特別号（学校評価・学力調査より）】

さわやか

校長 漢野 有美子

4月に実施しました市の学力調査（1，2年生）、県・全国学力調査（3年生）の結果が公表され、前期学校評価の集計ができました。本校の結果と分析・改善策の概要についてお知らせします。

1 前期学校評価より（生活や学習に取り組む姿勢等の問いからの抜粋）

①生徒アンケート：過去の前期との比較

肯定的な回答の割合（数値は%）

質問項目		R6	R5			
授業・学習	授業は分かりやすい	1年	92	97	授業が分かりやすいと感じている生徒が9割である。今後も学習課題を明確にし、分かりやすい授業を工夫していく。	
		2年	95	89		
		3年	90	94		
		全	92	93		
	授業では課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる	1年	82	94		授業は落ち着いて取り組んでいる。見通しを持って主体的に学習に粘り強く取り組めるよう授業改善を進める。
		2年	93	86		
		3年	85	93		
		全	86	91		
	友達や先生の話、分かるうとして聞いている	1年	97	98		
2年		99	97			
3年		95	99			
全		97	98			
家庭生活	自分で計画を立てて勉強している	1年	64	87	自分の将来の夢に向けて、定期テスト期間だけではなく計画的に学習する習慣を持たせていく。	
		2年	70	71		
		3年	68	71		
		全	67	76		
	平日の勉強時間が1時間以上	1年	47	89		1時間以上勉強している生徒は昨年より減少している。今後も家庭学習の大切さを伝え、取組を工夫していく。
		2年	81	62		
		3年	62	74		
		全	63	75		
	平日のメールやネット等の時間が2時間以上	1年	65	35		
2年		63	68			
3年		69	52			
全		66	52			
学校生活	学校へ行くのは楽しい	1年	88	94	生徒たちは毎日元気に学校生活を送っている。今後も生徒主体の活動を工夫していく。	
		2年	95	83		
		3年	86	89		
		全	89	88		
	物事に最後まで粘り強く取り組んでいる	1年	83	96		自ら進んで粘り強く活動に取り組むことで達成感や満足感を感じることができるよう今後も取組を工夫していく。
		2年	95	85		
		3年	89	94		
		全	89	92		
	いじめはどんな理由があってもいけない	1年	98	98		
2年		96	100			
3年		98	99			
全		97	99			
自尊意識面	自分には良いところがあると思う	1年	65	82	授業をはじめとするあらゆる教育活動の中で自信を持って行動できるよう生徒の頑張りを認める・褒める声かけに努めていく。	
		2年	88	75		
		3年	80	79		
		全	77	78		
	将来の夢や目標を持っている	1年	72	72		地域人材を活用した学習活動においてキャリア教育の推進に努めていく。
2年		72	74			
3年		65	73			
全		69	73			

②生徒アンケート：保護者と生徒との比較 肯定的な回答の割合 () は昨年度の前期との差

対象	質問項目	生徒	保護者
生徒・保護者	学校へ行くのが楽しい	89%(+1)	86%(+2)
生徒・保護者	自分で計画を立てて勉強している	67%(-9)	64%(-1)
生徒・保護者	しっかりと挨拶をしている	97%(+3)	88%(±0)
生徒・保護者	朝食を毎日食べている	92%(-1)	91%(-4)
生徒・保護者	将来の夢や目標を持っている	69%(-4)	60%(+2)
生徒・保護者	平日、家庭学習の時間が1時間以上である	62%(-12)	53%(-8)
生徒・保護者	休日、家庭学習の時間が2時間以上である	41%(-11)	29%(-5)
生徒・保護者	平日、メール、インターネット等の時間が1時間以上である	86%(+5)	82%(+4)
生徒・保護者	休日、メール、インターネット等の時間が2時間以上である	85%(+4)	75%(±0)
保護者	お子様と学校の出来事について話をしている	/	83%(±0)
保護者	学校は、お子様をよく理解し、指導している	/	79%(+4)
保護者	学校からの便りやホームページで学校の指導方針や子ども達の様子などがわかりやすく伝わってくる	/	90%(-2)
保護者	いじめ防止の取り組みが伝わってくる	/	64%(-1)

※(/) は実施していない項目です。

*「学校へ行くのが楽しい」と感じている生徒は約9割である。

*自分で計画を立てて勉強している生徒は67%で昨年度より9%減少した。

*平日に1時間以上、休日に2時間以上家庭学習をしている生徒は昨年度と比べて11～12%減少した。

*平日に1時間以上、休日に2時間以上メール、インターネット等を使用している生徒が86%であり、昨年度より4～5%増えた。家庭学習の時間が減少し、代わりにSNSやネット・ゲームの時間が増えていることがわかる。

2 学力調査結果より

4月17日(月)に石川県基礎学力調査(社会・理科・英語)、4月18日(火)に全国学力・学習状況調査(国語・数学)が、3年生を対象にそれぞれ実施されました。また、かほく市では4月に1、2年生を対象とした学力調査が行われました。調査の目的は、生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善、生活指導等に役立てることです。

今回、本校の分析結果がまとまりましたので、その概要を保護者・地域の皆様にお知らせします。なお、各学力調査により測定できるのは学力の特定の部分であり、また学校における教育活動の一側面であることをご理解くださいますようお願いいたします。

※3年生は、全国学力・学習状況調査〔国語・数学〕と石川県基礎学力調査〔3年：社会・理科・英語〕

※1・2年生は、かほく市実施の学力調査

下記の表の中の印(◎○□△▲)は本校の平均正答率を、国や県の平均正答率と比較したものです。

比較対象より ◎：5%以上高い ○：2～5%高い □：ほぼ同じ △：2～5%低い ▲：5%以上低い

		国語	数学	社会	理科	英語
1年	国との比較	□	○	○	□	□
2年	国との比較	◎	◎	◎	◎	◎
3年	国との比較	○	○	/	/	/
	県との比較	□	△	△	△	□

- ・1年生は数学・社会が国を上回り、国語・理科・英語が国と同程度である。
- ・2年生は全教科において国を大きく上回っている。
- ・3年生は国語・数学は国を上回っている。県との比較では、国語・英語は同程度であるが、数学・社会・理科が県をやや下回っている。
- ・各教科を分析すると、正答率の高い設問がある一方で、学習の定着が不十分な内容・領域が見られる。特に、知識を活用する問題や記述式の問題に課題がみられている。

3 今後に向けて

学校と家庭の連携で学力向上

基本的な生活習慣はどの学年においても良好な状況です。また毎日の授業では、落ち着いた態度で学習に臨み、学校行事や委員会活動など一人一人が役割を持って頑張っている姿が見られています。

そのような中、学校評価で十分ではない部分については謙虚に受け止め、これまでの取組を見直し、今後は以下に示したことをはじめとして改善に努めていきたいと考えています。

■学校での取組

本校の校訓「常に正しく」のように自分で考え、正しく判断して行動できる生徒の育成を目指しています。

①学習面

- ・授業では、主体的・対話的で深い学びや個別最適な学びの視点から「見通しが持てる授業」「教え合い、学び合う授業」「活動のある授業」「まとめや振り返りのある授業」をさらに意識して、生徒の自己有用感や自己肯定感を向上させられるように日々の授業実践や授業改善に心がけ、わかる楽しい授業となるように努めている。
- ・ICT機器の活用については、今後も効果的な指導につながるように工夫していく。
- ・家庭学習については、与えられた課題をこなすだけでなく、自ら学習計画を立てるなど主体的に学ぶ力の育成に取り組んでいる。

②生活面

- ・学習の土台となる「安心して話し合いができる学級づくり」を継続して進めていく。
- ・生徒の活動を前面に出し、成功や失敗にこだわらず「認める、褒める、励ます」など生徒指導の充実を図る。
- ・「さわやかカード」の活用、様々な活動を通して「自己肯定感」「自己有用感」を高める。
- ・日頃の生徒との関わりをより一層深め、学年職員による定期個人相談等を継続し、信頼関係の更なる構築を目指している。
- ・家庭学習時間を確保するための時間の使い方の指導や「早寝・早起き・朝ご飯」などのより良い生活習慣を確立するための指導を継続していく。

■家庭へのお願い

- ①スマホやゲーム等の使用状況を確認する。 ②ネットの時間を決める。(お子さんと一緒に)

★「将来の夢や目標としていること」や「SNSなどのネット使用について」など、家族で話す機会をぜひ設けてほしいと思います。

4 いじめ未然防止のために取り組んでいること

いじめは、「どの子供にも、どの学校でも、起こりうる」ものであることを十分認識して「いじめは人間として絶対に許されない」という意識を、学校教育全体を通じて、生徒一人一人に対して徹底し、未然防止、早期発見に努めている。保護者からの情報も大切なものの一つです。今後ご協力をよろしくお願い致します。

■主な取組

①毎月の「学校生活サポートアンケート」の実施

タブレット端末を用いて実施している。周りを気にせず回答できるようタブレット端末を自宅に持ち帰っている。「仲間はずれにされている、からかわれているなどと感じることはありますか」などのアンケートを行う中で、いじめられていないかどうかの情報を得ている。結果に応じて、本人から聞き取りを行い、事実の確認をしながら指導を進めている。

②教育相談の機会

担任や学年職員と生徒との個別相談の機会を定期的設け、その中から情報を得ている。

③日頃の様子を観察

朝の登校の様子や休み時間での巡回など、授業中以外の生徒の様子を見ながら情報を得ている。

④道徳教育の充実

人を思いやる心、命を大切にすることなど、豊かな心の育成に努めている。

⑤全校集会などの講話

生活指導担当や外部講師などから、いじめを許さないことについての話をしている。

■いじめの情報を得たあとの対応

- ・事実確認を行い、内容に応じて謝罪などの指導を行っている。保護者へも事の経緯を説明している。
- ・必要に応じて、心のケアとして、スクールカウンセラーや教育相談員との面談を行っている。場合によっては教育委員会等の関係機関とも連携を取りながら進めていく。
- ・事が起きた後、少なくとも3ヶ月は関係生徒の様子を観察していき、必要に応じて指導していく。
- ・内容に応じて、県派遣職員の生徒指導サポーター（元警察勤務）に、関係機関との連携等について助言を受けて対応している。※本校ホームページ「令和6年度版いじめ防止基本方針」参照

保護者の皆様、アンケートのご協力ありがとうございました。学校では学校評価の結果を踏まえ、それぞれの課題を改善しながら、より良い河北台中学校にしていきたいと考えています。今後も、河北台中学校が、地域にとってもより良い学校となるよう皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。なお、中間報告を9月中旬にホームページ上で公開しますので、併せてご覧ください。